

12月補正予算質疑

福祉課

産業課

保育所の改修・安全対策は「きめ細かな交付金」で

集落法人支援事業の減額理由は

寄附議員 保育所の改修事業720万円の詳細は。

木野山議員 法人総合活動支援事業において、集落法人設立に対する支援が何故減額なのか。

寄附議員 安全対策など迅速な対応であるが、他の保育所の施設整備や危険箇所への対応はどうするのか。

木野山議員 堆肥施設整備事業で、①コンボ(発酵機)の修理とは。②堆肥センターの使用状況は。産業課長 ①切田の堆肥センターのコンボは袋詰めをするための機械で、耐用年数を越えて古くなったので修繕が必要だ。

寄附議員 安全対策など迅速な対応であるが、他の保育所の施設整備や危険箇所への対応はどうするのか。

木野山議員 堆肥施設整備事業で、①コンボ(発酵機)の修理とは。②堆肥センターの使用状況は。産業課長 ①切田の堆肥センターのコンボは袋詰めをするための機械で、耐用年数を越えて古くなったので修繕が必要だ。

日常発生をしている鶏糞などの処理のため稼働している。
②鶏糞販売については、牛糞ほど売れないが、堆肥センター運営協議会でも協議し、町外への販売や法人などにも使用を促すなど鋭意努力をしている。

教育委員会

グラウンドの活発な使用による電気料金増額

橋本議員 三和、来見、仙養グラウンドの電気料金がなぜ増額となったのか。

活発なグラウンド使用は青少年健全育成の観点からも良いことだ。

教育課長 青少年スポーツ団体や消防団などが利用する夜間照明の電気料金が増額となった。

備品搬送経費は適正か

瀬尾議員 統合三和小学校へ三和・高蓋・二幸小学校から机・イス。

耐火金庫・ピアノなどを専門業者により搬送する①経費80万円は適正か。②工事完了から開校まで日数が少ないが搬送は開校に間に合うのか。

病院事業室

医師確保への支援は

木野山議員 広島県緊急医療支援市町交付金事業における314万5千円の補正は、他の医療機関から医師の派遣を受け入れるための賃金や旅費などの助成となっている。

①他機関とはどこか。②また医師の派遣は医師確保が問題である、その見直しは。

病院事業室長 この事業は今年度限りである。

①他の機関というのは町立病院に医師派遣を頂いている広島大学、県立広島病院である。派遣医師の旅費、賃金についても補助の対象となる。

②この事業は今年度限りとなっているが県は次年度もこれに見合う事業を行う予定であり本町も実施する。医師の確保についてはこの事業に関係なく努力していきたい。

木野山議員 この度、豊松地域の民間診療所の休院という事態が発生したが、この事業で医師の確保に努めて頂きたい。

病院事業室長 この事業は、対象診療科が(整形外科、眼科、呼吸器内科)となっており、豊松地区の内科の派遣はこの事業の対象となっていない。



神石高原マルシェ (182 ステーション)

借金を繰り上げ償還！(3億3969万円)、2700万円のメリット！「かがやきネット」運営基金、「地域再生基金」に各5000万円積み立て！

〇一般会計			
歳入歳出補正予算額		補正後予算額	
4億2280万円		123億2765万円	
費目	補正額	補正後予算額	主な内容
議会費	32万円	7600万円	議員人件費、職員人件費を減額し、議会経費120万円を追加補正
総務費	774万円	15億6582万円	町長等特別職人件費および職員人件費を減額補正、雇用対策基金事業200万円、地域活性化交付金事業(きめ細かな交付金)1130万円
民生費	2782万円	17億2618万円	福祉医療経費649万6千円、障害者介護給付・訓練給付事業1559万円
衛生費	684万円	9億7733万円	職員人件費を減額補正、予防接種事業345万円、飲料水確保事業300万円、病院事業会計補助210万円、小型合併処理浄化槽設置補助157万円
農林水産費	△723万円	9億3332万円	職員人件費を減額補正、農村地域総合推進事業△470万円、広島の森づくり事業△360万円、畜産振興施設整備事業225万円
商工費	△128万円	1億781万円	職員人件費を減額補正
土木費	△5155万円	5億4020万円	職員人件費△58万円、社会資本整備総合交付金事業△5106万円
教育費	56万円	17億8289万円	教育長人件費、職員人件費を減額補正、統合小学校建設事業80万円
公債費	3億3970万円	26億4792万円	長期債元金繰り上げ償還3億3969万円ほか
諸支支出金	9989万円	10億1662万円	ふるさとふれあい事業基金積立経費△12万円、かがやきネット管理運営基金積立経費5000万円、地域再生基金積立経費5000万円
合計	4億2280万円	123億2765万円	

特別会計ではほとんどが事業確定による精算補正と職員給与減額補正で、病院事業会計では高度な血液検査が可能な自動分析装置が導入されました。各会計補正金額の明細は表の通りです。

平成22年度一般会計・特別会計・病院事業会計12月補正 (万円未満四捨五入)				
会計名	補正予算額	補正後予算額	主な内容	
一般会計	4億2280万円	123億2765万円		
特別会計	国民健康保険	347万円	11億8512万円	職員人件費△106万円、総務一般管理経費404万円
	後期高齢者医療	608万円	4億7178万円	後期高齢者医療広域連合納付経費608万円
	老人保健	-	1044万円	
	介護保険	18万円	18億8319万円	職員人件費減額、介護保険審査会経費54万円
	簡易水道事業	752万円	3億8104万円	職員人件費減額、施設維持管理経費623万円、一般会計繰出経費142万円
	飲料水施設事業	-	4190万円	
	農業集落排水事業	886万円	2億5907万円	職員人件費減額、施設維持管理経費896万円
	分収育林事業	-	10万円	
	総合開発事業	180万円	2700万円	消費税納付経費180万円
	合計	2791万円	42億5965万円	
病院事業会計	210万円	1億7820万円	指定管理者への交付金△105万円、補助金315万円、血液自動分析装置導入982万円	
合計	4億5281万円	167億6550万円		

12月補正予算

一般会計では4億2280万円増額補正され、総額で123億2765万円となりました。

一般会計補正予算の主なものは、借金の繰上償還に3億3969万円、「かがやきネット運営基金」と「地域再生基金」にそれぞれ5000万円の積立。

その他では11月の臨時会で可決した職員給与や特別職、議員報酬、2188万円、社会資本整備総合交付金事業5106万円を減額補正し、きめ細かな交付金事業1130万円を追加補正となりました。

全会計の総額は、167億6550万円となりました。